

科目番号	51028	分類	共通科目	履修者	高度実践看護コース	学年	1
科目名	感染症マネジメント (Management of Infectious Diseases in Community)					1	後期
						カリキュラム	
担当者	○山西 文子 他2名		区分	必修	単位	1	時間数
授業の概要および目標				学位授与の方針と関連			
<p>【概要】 保健師として必要な感染症およびその対策の基礎知識について学び、地域で生活する感染症患者への対応および感染症の拡大予防の支援方法を理解し、疾患の特性や課題に応じた保健師の役割や活動を学ぶ。</p> <p>【目標】 自然免疫、液性免疫、細胞性免疫を理解する 市中感染症と医療関連感染症の概念と感染経路の違いを理解する 一類～五類感染症の区別および届出基準・拡大予防法を理解する 地域における感染症アウトブレイクに対処できる サーベイランスデータを理解できる</p>				○	1	クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力	
				○	2	クリティカル領域における患者に必要な治療を実践できる能力	
				○	3	患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワークを推進できる能力	
				○	4	専門職としての倫理的意識決定能力	
				○	5	高度看護実践者として、教育的経営的な視点をもつトップマネジメント能力	
				○	6	臨床実践に潜む暗黙知を形式知へと創出する研究開発能力	
				○	7	クリティカル領域における患者の危機的状況を支援する能力	
授業計画							
回	内容						担当教員
第1回	感染症との闘い(歴史)、生体防御機構と病原微生物						山西 他2名
第2回	感染症新法と感染症の分類・届け出基準、地域での対応・支援(公衆衛生)						
第3回	医療関連感染症(医療機関、在宅、介護)と薬剤耐性菌						
第4回	新興・再興感染症、COVID-19、新型インフルエンザ						
第5回	結核対策における保健師の役割						
第6回	ワクチン行政、ワクチン予防感染症(VPD)						
第7回	STIおよびウイルス肝炎、肝炎対策基本法						
第8回	食中毒、感染症多発時の対応、BCP						
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ◎院内の菌血症 ◎敗血症 ◎インフルエンザ ◎予防接種(感染症法を含む) 予防接種実施のための判断 年代別・リスク別に必要とされる予防接種 						
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ◎耐性菌に対する対応 ◎クロストリジウム・ディフィシル感染症の管理 ・感染症の診断方法 ・主要感染症の診断方法 						
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・主要疾患のフィジカルアセスメント ・病態に応じた感染徴候がある者に対する薬剤投与の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む) ・感染徴候がある者に対する薬剤投与のリスク(有害事象とその対策等) 						
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・抗生剤の種類と臨床薬理 ・各種抗生剤の適応と使用方法 						
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・各種抗生剤の副作用 ・感染徴候がある者に対し使用するその他の薬剤の種類と臨床薬理 						
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・感染徴候がある者に対し使用するその他の各種薬剤の適用と使用方法 ・感染徴候がある者に対し使用するその他の各種薬剤の副作用 						
第15回							
事前・事後学習	<p>事前学習：一類～五類感染症の区別(定義)を学習しておいて下さい</p> <p>事後学習：配布資料を復習し、不明な点はインターネットなどで調べて下さい</p> <p>授業に関連したレポートを課すことがあります</p> <p>単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に組み込むこと</p>						
評価の方法	出席状況及びレポートの内容・提出状況、フィードバックは適宜行います。						
参考図書・資料等	<p>特に指定図書はありません。必要に応じ資料を配布します</p> <p>◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。</p>						
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						